

「和・輪・話」のまち につば

わたしたちが 目指すまち

絆のまち につば

高齢者が楽しく元気に活動できるまちにしよう
住んでいる人どうし、支え合うまちにしよう
一人ひとりが地域のことに関心を持つまちにしよう
子どもが大人になっても住み続けたいまちにしよう
お互いにあいさつをし、みんなで明るく安心できるまちにしよう

【地区の概況】

地区 の概況

地区の中央を南北に市営地下鉄ブルーラインが通り、新羽駅と北新横浜駅の2駅を擁し、高速横浜環状北線の新横浜出入り口も設置され、交通の利便性が高いことから、住宅街だけでなく、工場や倉庫の立地も見られます。近くの鶴見川の堤防ではジョギング、ウォーキング、サイクリングが楽しめます。西側には丘陵が広がり、公園、畑、山林、竹林が点在し自然の多い地域です。

人口等 の特徴

人口、世帯数は今後も緩やかに増加します。20歳代を中心に、若い方の転入が増える傾向にあります。一方、割合は少ないものの、高齢の単身世帯や高齢の夫婦のみの世帯は増加しています。後期高齢者は引き続き現在と同じ傾向で増加し、今後10～15年間で現在の倍近くになります。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

3期は5つの部会（健康づくり、担い手・情報発信、子ども、住民交流、見守り）で掲げた目標ごとに、下記のような具体的な取り組みを進めてまいりました。

- ・「月例ウォーキング」「ポールウォーキング」の実施、「大新羽音頭」の普及推進、「スリーA」の開催などを通じた健康づくり
- ・イベントカレンダーの発行による地域の情報発信
- ・「ふれあい写真教室」「男の料理教室」の開催による住民間の交流促進
- ・自治会と町内会と民生委員等が連携した災害時要援護者支援の取り組み

◆ 地域の現状と課題

様々な地域の行事や活動が活発に行われていますが、新たな担い手の発掘が課題となっています。

◆ 今後の方向性

- ・4期は新たに「健康づくり」「住民交流」「情報」の3つの部会に再編成します。現在行っている地域活動をより充実させ、新たに必要と思われる取り組みなどに着手し、団体同士の連携を深めていきます。

目 標

- ・新羽の魅力を多くの住民に伝えます。
- ・地域でできる見守り、支えあいの取り組みを進めます。
- ・地域ぐるみで子どもを育み、子どもたちのふるさとづくりを進めます。
- ・健康づくりや介護予防につながる活動への参加者を増やし、地域を活性化します。
- ・気軽に行くことができる場や機会を増やし、自宅に閉じこもりがちな方の参加を呼びかけます。
- ・高齢者や障害者などへの理解を深める活動を進めます

これまでの地域の活動



月例ウォーキングの実施



ふれあい写真撮影会



イベントカレンダーの発行



野菜作りを通じた健康づくり



地域食堂の活動支援

活動に関する問合せ

◆ 新羽地域ケアプラザ
TEL.045-542-7207
FAX.045-531-7011
HP.http://nippa-cp-ch.jp



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp